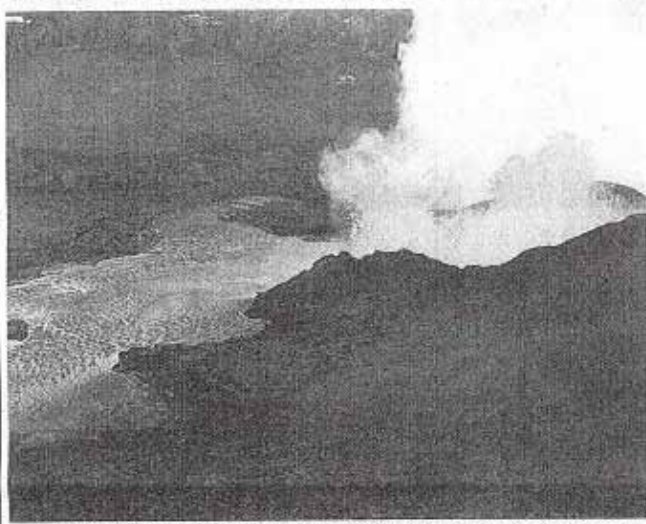


キラウエア噴火が終息

米国土質調査所



キラウエア火山の噴火の様子。26日、「注意」レベルから「通常」レベルに引き下げられた。写真は昨年6月、ハワイ島のハワイ地区の噴火口から流れ出る溶岩。(USGS提供)

警戒レベル「通常」へ

【ホノルル27日】米国土質調査所(USGS)は、キラウエア火山の警戒レベルを「通常」レベルに引き下げた。これは、昨年6月の噴火以来、最も低いレベルに引き下げられた。USGSは、過去2カ月の噴火活動が比較的穏やかな状態を維持しているとして、地上におよぶ警戒レベルを「注意」から「通常」レベルへ、また、航空フライトコードも、不安定な状態から、噴火のおそれの低減に引き下げた。

キラウエア火山は、ハワイ島のハワイ地区にあり、昨年6月の噴火以来、警戒レベルを「注意」から「通常」レベルに引き下げられた。USGSは、過去2カ月の噴火活動が比較的穏やかな状態を維持しているとして、地上におよぶ警戒レベルを「注意」から「通常」レベルへ、また、航空フライトコードも、不安定な状態から、噴火のおそれの低減に引き下げた。

USGSはまた、歴史のアーカイブでは、危険な噴火が繰り返されている。または「警戒」状態を「注意」状態に引き下げた。USGSは、過去の噴火活動が比較的穏やかな状態を維持しているとして、地上におよぶ警戒レベルを「注意」から「通常」レベルへ、また、航空フライトコードも、不安定な状態から、噴火のおそれの低減に引き下げた。

USGSの全国監視システムにおいて、「注意」レベルとは、噴火の活動が比較的穏やかな状態を維持しているとして、地上におよぶ警戒レベルを「注意」から「通常」レベルへ、また、航空フライトコードも、不安定な状態から、噴火のおそれの低減に引き下げた。

USGSは、過去の噴火活動が比較的穏やかな状態を維持しているとして、地上におよぶ警戒レベルを「注意」から「通常」レベルへ、また、航空フライトコードも、不安定な状態から、噴火のおそれの低減に引き下げた。

ハワイ島の歴史でも大規模な噴火も収まり、一安心。しかし、この噴火でも、一切被害を受けなかったオアフ島の不動産には、改めて関心させられます。非常事態が宣言された去年のハリケーン「レーン」でも被害は無く、災害への強さがハワイ不動産の魅力の一つですね。

(3月30日2019年
ハワイ報知より)

高さ制限を418フィートから768フィートへ引き上げに。将来的には、ワードビルに16棟のコンドが建設される予定ですが、革新的なコンドやコミュニティーの誕生に期待を抱いてしまいますね。

(2月13日2019年
ハワイ報知より)

カカアコの規制緩和へ

州議会 委員会 ビル高さ引き上げ可決

【ホノルル27日】州の418フィートの高さ制限を、カカアコ地区のビル高さ引き上げ可決。州議会は、カカアコ地区のビル高さ制限を、418フィートから768フィートへ引き上げることを可決した。

カカアコ地区のビル高さ制限を、418フィートから768フィートへ引き上げることを可決した。州議会は、カカアコ地区のビル高さ制限を、418フィートから768フィートへ引き上げることを可決した。

カカアコ地区のビル高さ制限を、418フィートから768フィートへ引き上げることを可決した。州議会は、カカアコ地区のビル高さ制限を、418フィートから768フィートへ引き上げることを可決した。

カカアコ地区のビル高さ制限を、418フィートから768フィートへ引き上げることを可決した。州議会は、カカアコ地区のビル高さ制限を、418フィートから768フィートへ引き上げることを可決した。



ハワイ—本土便を拡充 新型機を導入 サウスウエスト計画

全日空の2階建てジャンボ機だけでなく、米本土からの航空便も拡大しています。東京よりも小さいオアフ島に世界中から人が集まるのは、楽園以上の魅力があるからでしょうか。

(3月8日2019年 ハワイ報知より)

【 Honolulu, Hawaii 】 サウスウエスト航空は、燃料効率の良い新型機の導入により、ハワイと米本土を結ぶ路線を拡大する計画がある。同社の広報担当者が明らかに、機体変更知られるサウスウエストは、すでにハワイ諸島の航空便の拡大を開始して大成功を収めている。この計画が、同社のハワイ航空市場でのさらなる投資につながると見られている。

サウスウエストの広報担当者は、ハワイと米本土を結ぶ路線を拡大する計画がある。同社の広報担当者が明らかに、機体変更知られるサウスウエストは、すでにハワイ諸島の航空便の拡大を開始して大成功を収めている。この計画が、同社のハワイ航空市場でのさらなる投資につながると見られている。

サウスウエストは、燃料効率の良い新型機の導入により、ハワイと米本土を結ぶ路線を拡大する計画がある。同社の広報担当者が明らかに、機体変更知られるサウスウエストは、すでにハワイ諸島の航空便の拡大を開始して大成功を収めている。この計画が、同社のハワイ航空市場でのさらなる投資につながると見られている。

モノレールの建設やアラワイ運河に壁の建設など、インフラ整備も着実に進んでおります。これからも住民や観光客にとって、安心して住みやすい街づくりを実現してほしいですね。

(3月1日2019年 日刊サンより)

アラワイ治水が一步前進 州上院 資金拠出法案を可決

【 Honolulu, Hawaii 】 州上院は26日、アラワイ運河の洪水リスク軽減のための米陸軍工兵隊の治水工事資金拠出法案を可決した。

同委員会が法案を可決したことで、20年におよぶ計画に進展がもたらされた。治水計画の大きなハードルがクリアされた。

運河は1960年代にワイキキ開発のために用いられ、洪水の危険性を増大させている。この計画は、運河の周囲に高さ15メートルのコンクリート壁を作り、ワイキキに水を流すのを防ぐことである。

州上院は、州議会が治水計画の資金に使用していない約4500万ドルの資金を充て込んでいる。この資金は、州議会が治水計画の資金に使用していない約4500万ドルの資金を充て込んでいる。この資金は、州議会が治水計画の資金に使用していない約4500万ドルの資金を充て込んでいる。

州の当局者は26日、現在交際中だが合意には至っていないと議会に報告した。州議会が治水計画の資金に使用していない約4500万ドルの資金を充て込んでいる。この資金は、州議会が治水計画の資金に使用していない約4500万ドルの資金を充て込んでいる。

州の当局者は26日、現在交際中だが合意には至っていないと議会に報告した。州議会が治水計画の資金に使用していない約4500万ドルの資金を充て込んでいる。この資金は、州議会が治水計画の資金に使用していない約4500万ドルの資金を充て込んでいる。

(Aileen Sarker)